

福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)				応募者	代表者	会社名	一級建築士事務所 あとりえ・こらる		様式2-1
						住所	福井県坂井市坂井町東38-16		事務局使用欄
						電話番号	0776-89-1285		
						その他応募者1	会社名	株式会社one FOREST	
					その他応募者2	会社名			
【応募内容】									
物件番号	1	タイトル	漁師町×編みコミュ			リノベーションの範囲	☒ 全体改修	☐ 部分改修	※部分改修の場合は改修範囲 ☐ 居間 ☐ キッチン ☐ ダイニング ☒ その他
概算工事費		16,450,000円（税別）		改修後の用途	店舗兼コミュニティスペース			その他の改修場所	
【コンセプト】									
昨今、巷で「編み物」ブームが再到来している。東京オリンピック時に某男性選手が競技の待ち時間に編み物をしていたことがTVで放映され徐々に若年層にもそのブームが広がり、中高生に人気の韓国アイドルが火付け役なり、はたまたその波は某男性芸人にまで広がり、YouTubeやThreadsでも投稿数は激増。イギリスでは男性の趣味として大流行！パリでも毛糸店が今増えているとのこと。売り上げが数十倍になった店舗もあるという。某100円均一店舗では毛糸の在庫までがなくなる事態にまで発展している。しかし十数年前までは町単位で存在していた手芸屋さんが近年廃業する店舗も出てきていて、特にここ福井県でも毛糸を扱う店舗が少ないのが現状である。 そこでこの福井県でも毛糸店の復活を望む声が「編み物界限」でささやかれていることもあり、この計画を提案したい。ではなぜ「漁師町×編み物」なのか？日本に編み物が伝わったのは室町時代ともいわれ、昭和初期まで「編み物」という職業は 男性の仕事（海外でも男性の仕事であった）。しかも漁師さんたちが冬の手仕事として生業を立てていたのである。昭和の高度経済成長期に日本人が開発した編み機等が流行し、婦人方でも手編みをするのが一般的になり、今日「編み物」といえば婦人方の趣味というイメージが固定されるようになった。しかしながら現代は仕事でも趣味でも「男性だから」「女性だから」という固定観念は時代遅れになりつつある。 そこでこの古くから漁師町として栄えていたこの土地で、核となるような「編み物聖地」を作り発展させたい。今後男性の趣味として「編み物」がこの日本でも大流行するのを目前にして（編み物をする高校生男子の漫画が流行しているのもきっかけとなり）手の器用な漁師さんを「編み物界限」にとりこんでみるのはどうだろうかと考えた。（元々は漁師さんの仕事ゆえ） 最近では自然の草花や海藻で糸を染めることも流行りであるため、井戸の水を使っでの染色や三国の海でとれた海藻での染色体験のワークショップ、自分のお気に入りでなくなりつつある毛糸の物物交換をしたり、この古民家を編み物界限で盛り上がっている方々の編み物コミュニティスペース（編みコミュ）として、まためずらしい海外の毛糸を販売するセレクトショップをひとつにした核となる場所を提案したい。 また編み物は「精神安定・リラックス効果」が期待でき、達成感も生まれるので、福祉の観点からも注目される趣味になっていきっていて、認知症予防の脳トレ編み物キットもでているぐらいである。この店舗を軸に近くの寺院で場所借りをして編み物ワークショップを提案したりするのもよいだろう。									
【改修プランの概要】									
築150年以上経過しており、屋根外壁共損傷が激しく、基礎も笏谷石にのっているだけの基礎と見受けられる。内部も壁や天井の損傷も激しく、床もボロボロの状態。ただ、幸いにもメインとなる柱や梁、けやきの装束等は損傷少なく使えそうである。屋根は全面的に瓦を葺き替えし、仮囲いは全て撤去。砂壁は残したまま外壁は正面貼替、南西北の3方はトタン張りを今の外壁から被せるように上貼で留める。平面図で赤で示した部分の壁と基礎はやり替え、部分的にジャッキで支え、新たに布基礎を施し筋交入りの壁にして耐震性をあげる。腐った柱は脚部分のみ添木のように組替えアンカーボルトで基礎に固定する。断熱に関しては、窓は全て二重サッシに取替え、現状の壁の内側（外壁回りのみ）にもう一度下地をして断熱材を敷き詰め、防火性も考慮してPBI2.5を上貼りする。外壁回り以外の壁は撤去し、オープンにする（補強して耐力壁にしてもよいだろう。） 給排水設備が整っていない為、道路側に近いところでトイレやキッチンの水回りを配置し、新たに給排水設備を設ける。染め物用に井戸水を利用することを考える。 床も損傷が激しいので、和室以外の部分は土間仕上げにし、和室部分は床補強とシロアリ駆除、新たに垂木や床板、畳を設ける（畳については解体現場で出る処分される畳を表替えだけ施してもよいだろう）									
【工夫点（安心で快適な利用、地域特性・立地条件、コスト縮減等）】									
①柱梁はしっかりしているものの、基礎、屋根、外壁に不安がある。基礎は要となる4隅をメインに布基礎を施工し、その部分は耐力壁として家全体を支えるように。屋根も下地は損傷が激しいところのみ補修だけとし、瓦は全て葺き替えとする。（現段階ではトタンよりも瓦の方が安価であるため、瓦の下地をそのまま使用できるように） ②建物の北側は今後は幸いにも空き地となっており、海沿い（河川敷）まで建物が無い状態。井戸回りの仮囲いをなくし、開けた景観を利用。その方向に大きな窓を入れ込み、井戸の周りをデッキと空間を繋げる。そのデッキで染め物体験を行っている様子を編コミュしている方から見えるように、またセレクトショップで買い物している方からも見える位置にし、賑わいを共有できるように考慮する。 ③内部解体作業や内部仕上げ作業等は専門業者指導の下DIY仲間を誘致して古民家再生ワークショップをしてコスト縮減を図る。 ④開店以後の収益として、女性限定と限らず、漁師の方や地域住民も誘致しての編み物体験や教室を定期的に関き、場所貸しとしてワンコイン/時で和室部分の提供したり、基本飲み物はセルフサービスとするが、部分的にカフェとして店舗貸し（テストマーケティングの場として提供）することも考慮 ⑤編み物界限で賑わっているYouTubeやThreads等のSNS誘致で紹介することで、福井県内の今現在編み物を趣味としている方はもちろん「やりたい」を後押しできるように市町で「編み物聖地化」をしていくことを提案。福祉施設とも連携しながら取り組む。マタニティの方、育児真っ最中の方も自分の子どもの為にと編み物を考える方も必ずいるので、それぞれの立場でコミュニケーションできるように、時間帯を区切りながら様々な世代の交流の場としても栄えさせたい。									

福井県古民家リノベーションコンテスト (その他用途)	応募者	代表者	会社名	一級建築士事務所 あとりえ・こらる	様式2-3
			住所	福井県坂井市坂井町東38-16	事務局使用欄
			電話番号	0776-89-1285	
		その他応募者1	会社名	株式会社one FOREST	
		その他応募者2	会社名		

リノベーション提案（イメージパース）



▲正面外観イメージ



▲玄関正面内観イメージ



▲裏側外観イメージ



▲染色コーナーからの内観イメージ

リノベーション提案（イメージパース）



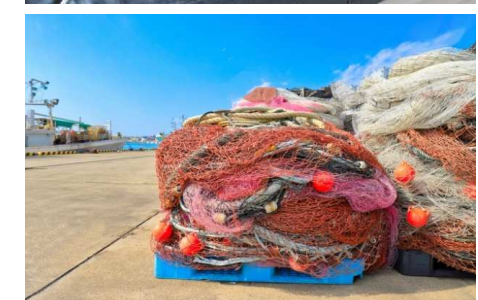
▲喫茶コーナーからの内観イメージ



▲玄関からの内観イメージ



▲「編みコミュ」コーナーからの内観イメージ



概 算 工 事 費

NO	工事種別	工事内容	数量	金額
1	解体工事	内部壁面・床全体の解体（DIY等で削減可能）	1式	1,000,000
2	仮設工事	外部工事のための足場	1式	250,000
3	外装工事	瓦の葺き替えそれに伴う屋根の修繕工事/外部波板張りとファサード板張りなど	1式	3,500,000
4	内装工事	土間打設、木工事、内装仕上げ等	1式	6,500,000
5	給排設備工事	給排水引込、床埋設工事、トイレ、流し等の設置	1式	1,200,000
6	電気工事	配線工事全般	1式	1,000,000
7	補強工事	ブレス補強工事	1式	1,500,000
8	諸経費		1式	1,500,000
	小計			16,450,000
	消費税			1,645,000
	合計			18,095,000

注1 様式2の概算工事費と整合すること

注2 概算工事費の工事種別については、適宜修正、追加していただいて構いません。